

高速道路の交通安全施設 (NEXCO 西日本高速の例)

高速道路上において安全性を高めるために、速度超過(抑制)対策、そして視線誘導に係る種々の施設を設置して、安全なドライブができるよう注意喚起を行っています。以下の写真はその一部です。

※目的地に向けて安心してドライブするには道路交通情報が重要です。下記にアイハイウェイをご紹介します。

《 本線上 》

1. 速度超過

① 注意喚起看板(長い下り坂)



「勾配 3%、延長 3km」下り坂
常に速度に注意を!

② LED 看板による速度注意喚起



(規制速度以内)

(速度超過時)

走行速度の確認を促し、適切な速度の維持を促しています。

③ -1 路面表示(薄層(ハクソウ)舗装)



色や軽い振動で注意を促します。

-2(高視認性路面表示)



(昼間)

夜間や雨天時の視認性の悪い状況において線形や勾配の認識を助けます。



(夜間・湿潤)

2. 線形・ハンドル操作

① 矢羽板



急カーブなど線形の厳しい箇所では注意を促しています。

② 注意喚起看板



《 インターチェンジ 》

○ランプ・カラー舗装



目立つ舗装で注意喚起

《 交通安全啓発 》

○本線情報板の活用



注目度の高い安全に関する啓発

《 休憩施設 》

① ランプ駐車抑制対策



ラバーポールによる駐停車抑制

② -1 逆走防止対策



勘違いによる逆走方向流出への注意喚起や、逆流の抑制をしています。

-2 逆走防止対策



NEXCO の高速道路の通行止、規制及び渋滞等各種高速道路に関連する情報を提供
アイハイウェイ
(携帯、スマートフォンからフリーアクセス)



☆通行止時の規制内作業の進行状況も一部提供しています。



QR コード